

## PRESS RELEASE



# 「戦後 80 年 《明日の神話》 次世代につなぐ 原爆×芸術」展

## 80 Years After the War "The Myth of Tomorrow" Atomic Bomb × Art: Connecting the Next Generation

2025 年 7 月 19 日(土)～10 月 19 日(日)



01.岡本太郎《明日の神話》1968 年

戦後 80 年を迎える今年、戦争や被爆の記憶を次世代につなげる展覧会を開催します。

本展開催のきっかけは、広島市立基町高等学校の生徒たちが描いた「原爆の絵」です。

広島市の爆心地に近い基町高校では、創造表現コースの生徒たちが被爆者から半年以上の時間をかけて話を聞きとり、その記憶を「次世代と描く原爆の絵」として描く活動を 20 年近く続けています。現代の高校生の手によって、被爆者が語る被爆の実体験が次世代へと受け渡されているのです。この「原爆の絵」、そして岡本太郎の作品に加え、同じように核の問題に取り組む、現代の第一線で活躍する作家たちの作品によって本展は構成されています。

岡本太郎は 30 歳のときに中国の戦線に送られ、戦地で過酷な日々を経験します。復員後は、戦火で全てを失いながらも猛然と活動を再開。社会にメッセージを投げかける作品を次々と発表しました。岡本が核をテーマに挑んだ代表作《明日の神話》は、広島と長崎に落とされた原爆やビキニ環礁での水爆実験を題材としています。核の惨禍を乗り越えてなお、明日に向かって生きる人間像が描き出されています。

現代のアーティストたちもまた、戦争や原爆の記憶を、過去の出来事とするのではなく、現代に生きる私たちの問題として次の世代に向けた作品を制作しています。核の問題は、原水爆だけでなく原発事故など、現在の私たちの身近にも存在しています。戦争もまた、テロや侵略、報復という文脈で行われ、現在も様々な形をとりながら世界各地で続いています。本展では、80 年前の戦争の記憶を起点として、現在の私たちを取り巻く様々な問題を題材に、独自の視点で表現する 9 組の作家の作品をご紹介します。

本展によって、戦争や被爆の記憶を次の世代につなげてゆくとともに、混迷を続ける世界で私たちはどのように生きるべきかを考えるきっかけとなれば幸いです。

02.原爆ドームを撮影する岡本太郎  
(1963 年、広島)

## 【開催概要】

会 期：2025 年 7 月 19 日(土)～10 月 19 日(日)

会 場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室・企画展示室

休 館 日：月曜日(7 月 21 日、8 月 11 日、9 月 15 日、10 月 13 日を除く)、7 月 22 日(火)、8 月 12 日(火)、  
9 月 16 日(火)、9 月 24 日(水)、10 月 15 日(水)

観 覧 料：一般 1,000(800)円、高・大学生・65 歳以上 800(640)円 ※( )内は 20 名以上の団体料金、中学生以下無料

主 催：川崎市岡本太郎美術館／特別協力：弓狩匡純、仲野泰生／会場構成：眞田大輔

協 力：広島市立基町高等学校・創造表現コース、公益財団法人広島平和センター、広島平和記念資料館、  
アートフロントギャラリー、Ulterior Gallery、ギャラリーQ、ミヅマアートギャラリー、Yutaka Kikutake Gallery、  
株式会社ソナ、LUFTZUG、TSS テレビ新広島

## PRESS RELEASE



### 【展示構成】

- I 広島市立基町高等学校・創造表現コース：「次世代と描く原爆の絵」42 点（広島平和記念資料館蔵）
- II 現代アーティスト：安藤榮作、笠木絵津子、後藤靖香、小林エリカ、蔦谷楽、富安由真、安喜万佐子、米谷健＋ジュリア、李晶玉
- III 岡本太郎：《明日の神話》、《死の灰》（岡本太郎記念館蔵）他 関連作品及び資料

### ○常設展示室

核を題材に制作した作品など、岡本太郎の作品約 120 点を展示  
現代アーティスト：後藤靖香、米谷健＋ジュリアの作品を展示

### ○企画展示室

「次世代と描く原爆の絵」原画 42 点を展示  
岡本太郎 《明日の神話》  
現代アーティスト：富安由真、安喜万佐子、安藤榮作、蔦谷楽、李晶玉、小林エリカ

### ○ガイダンスホール

笠木絵津子による現代物理学の視点からみた映像作品 3 作を上映

### ○ギャラリースペース

基町高校での「次世代と描く原爆の絵」制作の取り組みを紹介（TSS テレビ新広島の番組を上映）

### 【みどころ】

- 広島市立基町高等学校・創造表現コースの高校生たちが描いた「次世代と描く原爆の絵」（広島平和記念資料館蔵）原画を 42 点紹介
- 第一線で活躍する現代アーティスト 9 組の作品を紹介。1945 年の広島での原爆の記憶を起点として、戦争や紛争など現在の社会問題をテーマとする作品の数々を紹介
- 出品作家によるトークイベントや基町高校卒業生によるトークや小倉桂子氏の特別講演など、盛りだくさんの関連イベントを開催

### 【関連イベント】

#### ○「原爆×芸術」展開催記念 特別講演・クロストーク

##### 第 1 部 特別講演

講演者：小倉桂子（平和のためのヒロシマ通訳者グループ代表）

##### 第 2 部 出品作家によるクロストーク

出演：米谷健＋ジュリア、蔦谷楽／ゲスト：小倉桂子／進行：土方明司（当館館長）

日 時：7 月 19 日（土）14:00～16:00

会 場：企画展示室

料 金：無料（要観覧料）

#### ○出品作家によるリレートーク

日 時：7 月 20 日（日）14:00～15:30

出 演：安藤榮作、後藤靖香、安喜万佐子

会 場：常設展示室・企画展示室

料 金：無料（要観覧料）

## PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館  
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

### ○出品作家によるトークイベント

日 時: 7 月 27 日(日)14:00～15:00 (担当作家: 小林エリカ)  
8 月 9 日(土)14:00～15:00 (担当作家: 富安由真)  
9 月 7 日(日)14:00～15:00 (担当作家: 李晶玉)

会 場: ガイダンスホール

定 員: 50 名

料 金: 無料(当日先着順)

### ○基町高校卒業生＋東京造形大学山田ゼミによるギャラリートーク・ワークショップ

日 時: 8 月 22 日(金)13:00～15:30

講 師: 山田猛(東京造形大学教授)、一ノ間照美、竹本茜、横山葉央

会 場: 企画展示室 他

### ○笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」トークショー

日 時: 8 月 23 日(土)14:00～16:00

ゲ ス ト: 佐藤文隆(京都大学名誉教授)、小沼通二(慶應義塾大学名誉教授)、  
杉山厚子(第五福竜丸元漁労長 見崎吉男氏長女)、安田和也(第五福竜丸展示館学芸員)、  
高橋将太(名古屋大学素粒子宇宙起源研究所科学コミュニケーター)

進 行: 笠木絵津子(出品作家)

会 場: ガイダンスホール

定 員: 50 名(当日先着順)

料 金: 無料

### ○基町高校卒業生によるトークイベント(予定)

## 《出品作品》

「次世代と描く原爆の絵」 42 点  
(広島市立基町高等学校・創造表現コース)



03. 津村果奈(証言者: 岸田弘子)  
《死んだ我が子を背負う若いお母さん》2016 年、  
広島平和記念資料館蔵

04. 高山愛季(証言者: 笠岡貞江)  
《ああ！幽霊だ!!》2013 年、  
広島平和記念資料館蔵



05. サンガー梨里(証言者: 飯田國彦)  
《皆、どこに消えたの?》2021 年、  
広島平和記念資料館蔵



## PRESS RELEASE



### 現代アーティスト

安藤榮作、笠木絵津子、後藤靖香、小林エリカ、薦谷楽、富安由真、安喜万佐子、米谷健+ジュリア、李晶玉



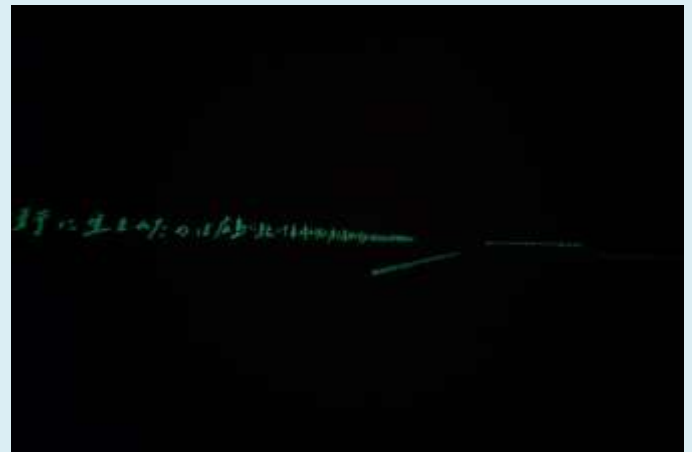
06.安藤榮作《鳳凰》2016 年、作家蔵(参考作品)



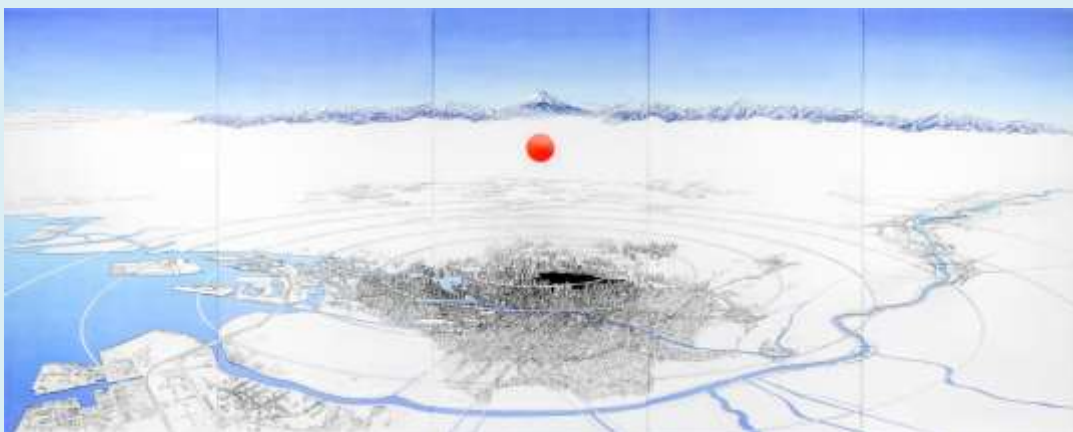
07.笠木絵津子《笠木絵津子映像プロジェクト「現代物理への旅」第2章その1「ロスアラモス」》2023 年



08.後藤靖香《堂々巡り》2024 年、作家蔵



09.小林エリカ《Sunrise》2016 年、作家蔵  
Photo by LUFTZUG



10. 李晶玉《Ground Zero》2022 年、個人蔵

## PRESS RELEASE



11. 薦谷楽《ピジンゴのインコ》2025 年、作家蔵



12. 富安由真《影にのぞむ》2023 年、作家蔵  
(原爆の図丸木美術館での展示風景 撮影: 加藤健)



13. 安喜万佐子《網膜の雪(snow in Hiroshima)》  
2004-2018 年、作家蔵



14. 米谷健+ジュリア  
《中国 クリスタルパレス: 万原子力発電国産業製作品大博覧会》  
2016 年、作家蔵

★広報用画像をお貸ししています。ご希望の媒体様は、当館広報宛にお問合せください。  
岡本太郎美術館・広報(pr@taromuseum.jp)

### 《お問い合わせ》

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当: 片岡・加藤・細川 広報担当: 山内(pr@taromuseum.jp)  
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柁形 7-1-5 生田緑地内  
TEL: 044-900-9898 / FAX: 044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>

